

男女共同参画人材育成セミナー

まちづくりや男女共同参画を推進するリーダーとして、あるいは、市の審議会等に参画し、政策・方針決定の場で活躍できる人材を育成することを目的として、男女共同参画人材育成セミナーを実施しました。

今年度は、「HUGから考える災害時の男女共同参画」と題し、男女共同参画の視点を含めた多様な災害対応や地域で役立つ災害対策を、避難所運営ゲーム「HUG」を使って学びました。

セミナーの講師には、合同会社あっと・こみゆにてい代表で危機管理士2級（自然災害）の宮木裕子さんをお招きしました。

- ◆日時：令和5年3月22日（水）
13：30～16：00
- ◆会場：福津市立図書館2階研修室1
- ◆参加者：13名
- ◆講師：宮木 裕子さん
（合同会社あっと・こみゆにてい代表）
- ◆演題：「HUGから考える災害時の男女共同参画」

参加者は3つの班に分かれ、まず、自己紹介を行いました。その後、班ごとに避難所運営ゲーム「HUG」を行いました。

「HUG」とは、2007年に静岡県危機管理局が企画・開発した防災カードゲームで、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれがかかえる事情が書かれたカード（避難者カード）を避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

班ごとにリーダーなどの役割を決め、カードに書かれている設定に従い、避難所の見取り図に、どのように避難者を受け入れるか、避難所で起こった課題をどのように解決するかを各班のメンバーで話し合い、協力し合って取り組みました。

次々と問題が発生するため、参加者からは時間が足りないといった声も上がっていました。ゲーム終了後は避難所を運営した感想を班ごとに発表しました。

その後、避難所運営チェックシートで避難所には多様な立場の人が避難するが、その視点で運営できたかということ振り返ってもらいました。

受講後のアンケートでは、「男女共同参画の視点でたくさんの気づきがありました」や、「HUGを通して避難所の運営を実感を持って考えることができました」といった感想がありました。

この講座を通じて、意思決定の場での、男女共同参画の視点も含めた、多様な視点での参画の必要性を学んでいただくことができました。

